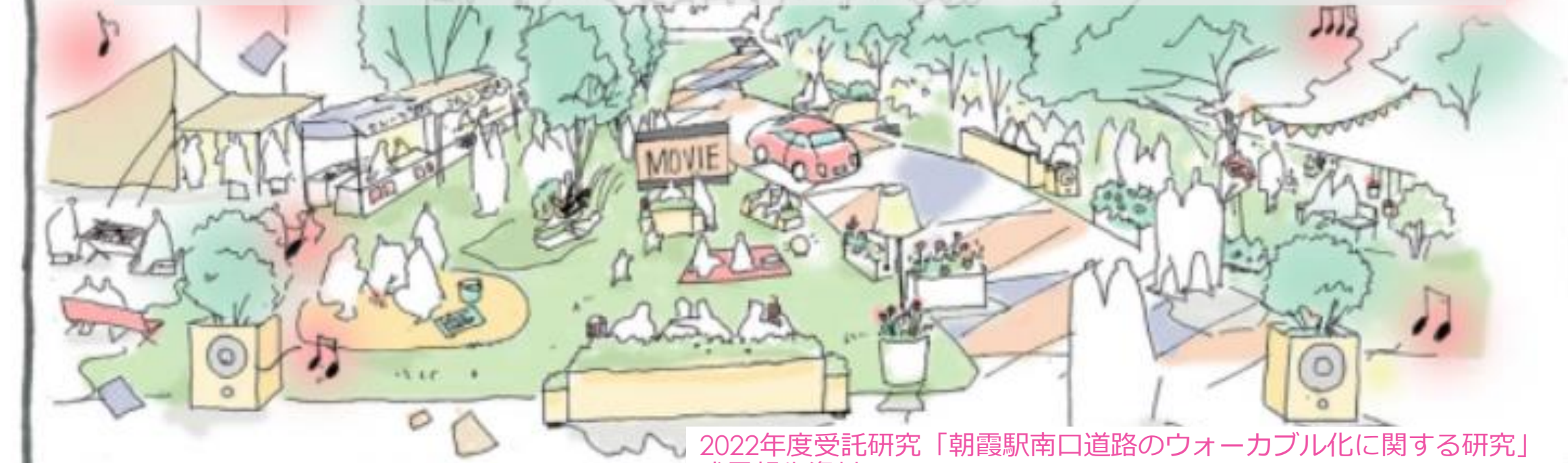
住宅地内道路におけるウォーカブルな道路整備提案に対する住民の評価に関する研究

A study on evaluations by residents of walkable road improvement proposals in the residential area



イラスト出典：朝霞エリアデザイン会議，朝霞駅周辺エリア官民連携街中推進事業　エリアビジョン

2022年度受託研究「朝霞駅南口道路のウォーカブル化に関する研究」成果報告資料

埼玉大学　工学部環境社会デザイン学科　交通・計画グループ

2023年3月

研究背景・目的

世界の
生活道路

車中心 → **人中心**

自家用車の普及
交通量の増加

歩行者と車両が同じ空間で安全に共存
多様な活動が繰り広げられる滞留空間

日本では

居心地が良く歩きたくなるまちなか

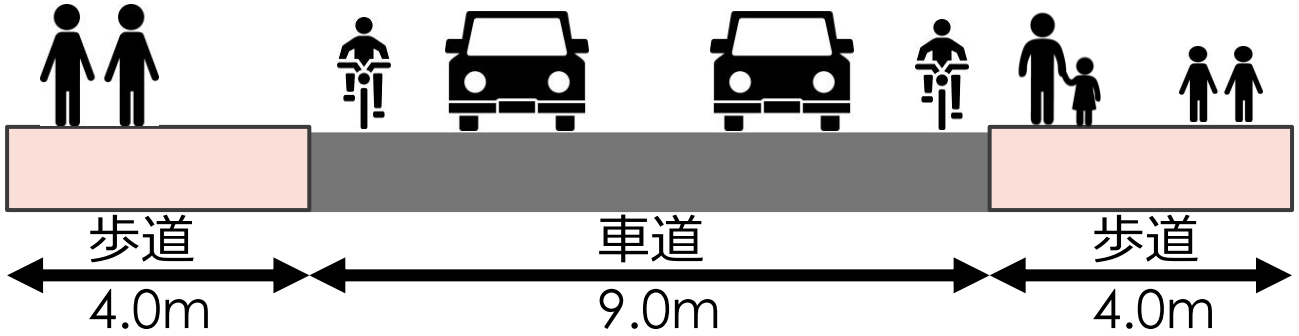
ウォーカブル推薦都市
325 団体が賛同し,ウォーカブルなまちづくりに取り組む

→埼玉県朝霞市

目的

朝霞駅西口富士見通線(＝対象道路)で計画が進むプロジェクトに参加し,
住民と利用者の意向に寄り添ったウォーカブルな道路整備の提案を行う

対象道路の概要



○都市計画道路の見直しにより,自動車の円滑な交通を担う役割がなくなった

○官民連携エリアプラットフォーム『あさかエリアデザイン会議』で整備が検討

○比較的大きな幅員で交通量が少ない

○住宅に囲まれる

○交差点での交通事故が問題

対象道路の概要

○朝霞駅から近く,駅周辺の賑わいへの貢献も期待される
○駅前通りは道路幅員が狭いにも関わらず大型車が相互通行しているという交通安全上の問題
　　→一方通行化が検討されている

過年度の研究

住宅地におけるウォーカブルな道路整備提案の評価要因に関する研究

調査方法

○朝霞駅西口富士見通線沿いに居住する方を対象としたアンケート調査

まとめ

○道路整備の改変と現状維持で意見が二分
　→今後合意形成が大きな課題となり得る
○解決すべき課題
　交差点での交通事故
　騒音問題
　衛生問題
　駅前通りの整備

「現状のまま」の評価点

出典：住宅地におけるウォーカブルな道路整備提案の評価要因に関する研究

アンケート調査の概要

実施日時	2022年11月6日(日)アサカストリートテラス開催日 10:00~17:15
実施場所	朝霞駅西口富士見通線沿い,B.B.SQUARE 横
調査対象	アサカストリートテラス訪問者 市内在住の方,来街者,すべて含む
方法	アサカストリートテラスにて紙アンケートを配布 その場で記入してもらい回収

内容

1. 人中心の空間としての整備について
2. 交通安全対策について
3. その他(個人属性)

出典：Instagramアサカストリートテラス(@asaka_street_terrace)

アンケートの内容：人中心の空間

①歩行空間
②植栽
③ポケットパーク
④ミニイベントスペース
⑤休憩施設
⑥ファニチャー
⑦日陰スペース
⑧子供が遊べるスペース
⑨自動車の規制速度
⑩なってほしい道の雰囲気
⑪居心地の良い人中心の空間とするための改良点(記述)

1　人中心の空間としての整備について

あなたのお気持ちに一番近いものに○をつけてください。

Q1 現在、車道が広くなっていますが、相互通行を維持した上で、車道を狭めて歩行空間を広げた方がいいと思いますか。

1．歩道を最大限広げてほしい　2．歩道をもう少しだけ広げてほしい　3．現状維持でいい　4．分からない

Q2 植栽（木や花などの緑）は、現在より増えた方がいいですか。

1．たくさん増えてほしい　2．適度に増えてほしい　3．不要（現状維持で十分）

Q3 道端に小さい公園（ポケットパーク）が併設された方がいいですか。

1．あった方がいい　2．この道には要らない　3．どちらでもいい

Q4 時々、キッチンカーやマルシェ、テラス営業などが開催される、ミニイベントスペースはあった方がいいですか。

1．あった方がいい　2．要らない　3．どちらでもいい

Q5 ベンチ等の休憩施設はどの位あった方がいいですか。

1．たくさんあった方がいい　2．適度にあった方がいい　3．要らない　4．どちらでもいい

Q6 ちょっとした食事やテレワークにも使えるようなファニチャー（テーブル）はあった方がいいですか。

1．たくさんあった方がいい　2．適度にあった方がいい　3．要らない　4．どちらでもいい

Q7 直射日光が避けられる日影スペースはあった方がいいですか。

1．あった方がいい　2．要らない　3．どちらでもいい

Q8 子供が遊べるスペースはあった方がいいですか。

1．あった方がいい　2．要らない　3．どちらでもいい

Q9 歩行者から見て、この道を通る自動車の速度を、どの位に規制してほしいですか。

1．時速２０km 以下　2．時速３０km 以下　3．時速４０km 以下　4．時速４０km 超

Q10 将来、どのような雰囲気の道になってほしいと思いますか。（☆１つだけ選択）

1．緑や自然にあふれるさわやかな道　2．都会的で落ち着きのある景観の道

3．ワクワクするような明るいデザインの道

4．アート、人参（にんじん）など朝霞ならではのテーマ性、日本庭園風など、個性のある特徴を持った道

5．その他（　　）　6．普通がいい

7．こだわりはなく、なんでもいい

Q11 この道を居心地のいい人中心の空間とするため、どのように改良した方がいいか、ご意見はありますか。

（　　）

アンケートの内容：交通安全対策

対象道路に相応しくない1点～相応しい10点
10段階で評価

①スラロームの設置
②ハンプの設置
③スムース横断歩道の設置
④舗装路面の仕上げの変更
(歩車道一体化)
⑤ベンチ,植栽の設置
⑥一方通行化
⑦歩行者天国化

2　交通安全対策について

Q12 想定される交通安全対策として、次の７種類（①～⑦）の方法があります。これらが駅西口富士見通線の対策として相応しいかどうか、それぞれ太枠内の 1～10 段階の中からあなたのお気持ちに一番近いものに○をつけてください。

①スラロームの設置
曲線で車道を蛇行させることで、車両の走行速度を低減させる。

相応しくない　1　2　3　4　5　6　7　8　9　10　相応しい

事例：吉川市きよみ野ニュータウン　事例：大田区さかさ川通り

②ハンプの設置
車道や交差点に設置したなだらかな凸型路面で、運転者が視認して、速度を低減することを狙った道路構造。

相応しくない　1　2　3　4　5　6　7　8　9　10　相応しい

事例：埼玉県朝霞市東弁財地区

③スムース横断歩道の設置
横断歩道をハンプ構造(②)とすることで車両の走行速度を低減させるとともに、歩道と横断歩道の段差を解消して歩行がスムースになる。

相応しくない　1　2　3　4　5　6　7　8　9　10　相応しい

事例：埼玉県朝霞市東弁財地区

④舗装路面の仕上げの変更（歩車道一体化）
歩車道全体を同じ特殊な舗装にすることで、車両の走行速度を低減・進入を抑制する。

相応しくない　1　2　3　4　5　6　7　8　9　10　相応しい

事例：出雲市神門通り　事例：愛知県豊田市梅坪地区

⑤ベンチ、植栽の設置
誰もが立ち寄って休憩することのできる場所を創出することができ、地域交流の場となるほか、設置場所を工夫することで、視覚的な障害物として自動車の走行速度を抑制する。

相応しくない　1　2　3　4　5　6　7　8　9　10　相応しい

事例：東京都千代田区　事例：オランダ フローニンゲン市

⑥一方通行化
双方向通行よりも車道を狭めることで、歩道空間を拡張する。

相応しくない　1　2　3　4　5　6　7　8　9　10　相応しい

事例：神戸市 真合南５４号線

⑦歩行者天国化
車両の通行を禁止し、歩行者の安全と良好な生活環境を確保することを目的としている。
また、自転車に徐行義務を課したうえで通行することを可能とする。沿道に車庫がある場合など、許可を受けた自動車や、緊急車両等は通行が可能となる。

相応しくない　1　2　3　4　5　6　7　8　9　10　相応しい

事例：千代田区大丸有地区　事例：北九州市魚町サンロード商店街

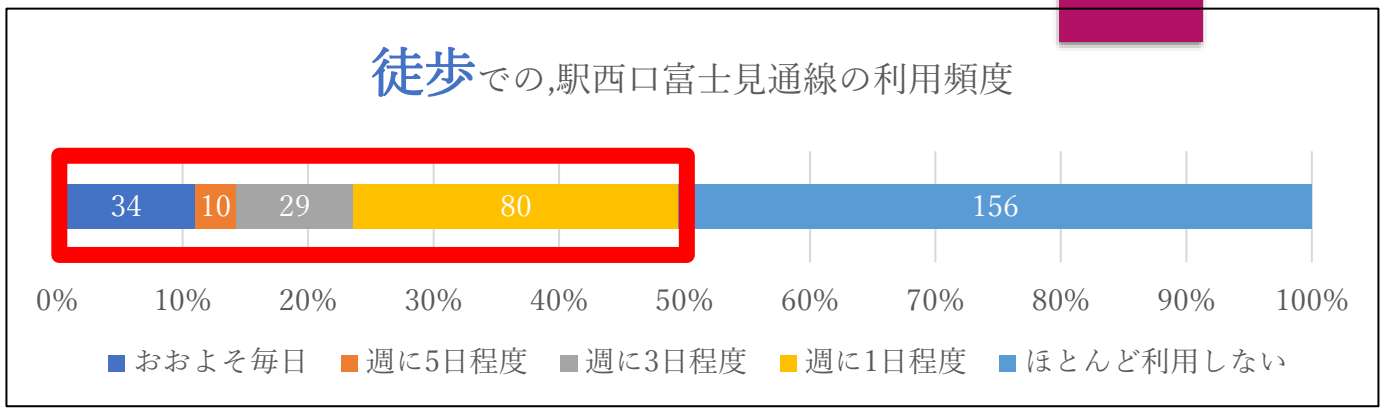
調査結果

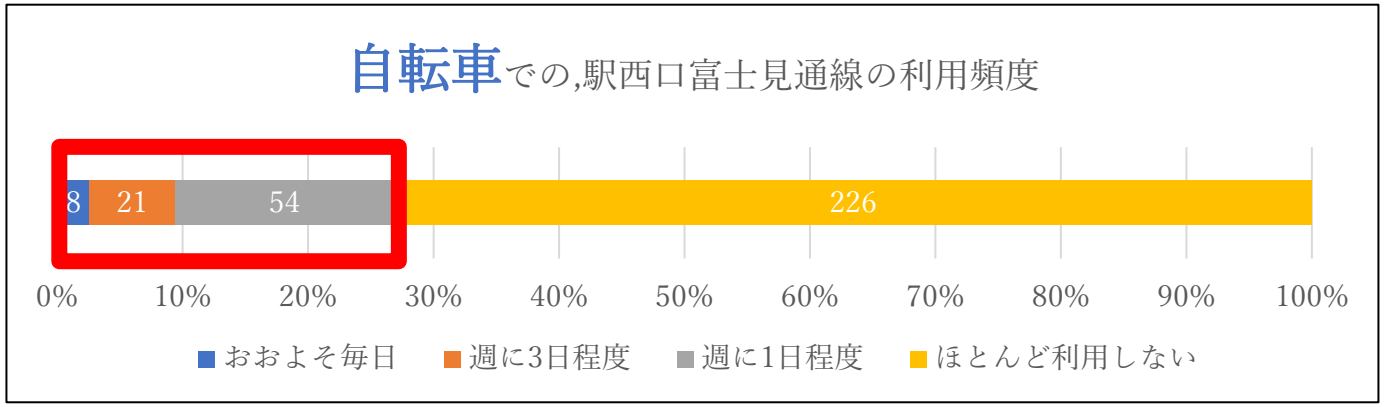
回収状況

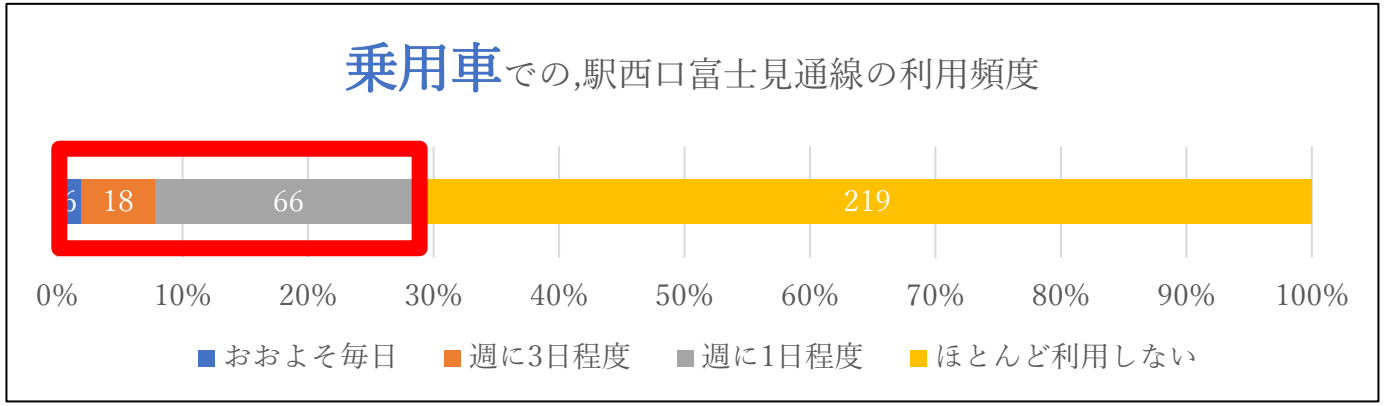
○回収数：361部
(内　白紙・無効：52部)
○有効回答数：309部

個人属性

○年齢構成　30-50代が8割程度
○男女比率　44%：56%
○対象道路を週1回以上利用
徒歩　50%
自転車　27%
乗用車　29%







調査結果：人中心の空間としての整備について

あった方がいい,もしくは増えた方がいいの回答数(降順)

- 休憩施設
- 植栽
- ミニイベントスペース
- 日陰スペース
- 今より広い歩行空間
- 子供が遊べるスペース
- ファニチャー
- ポケットパーク

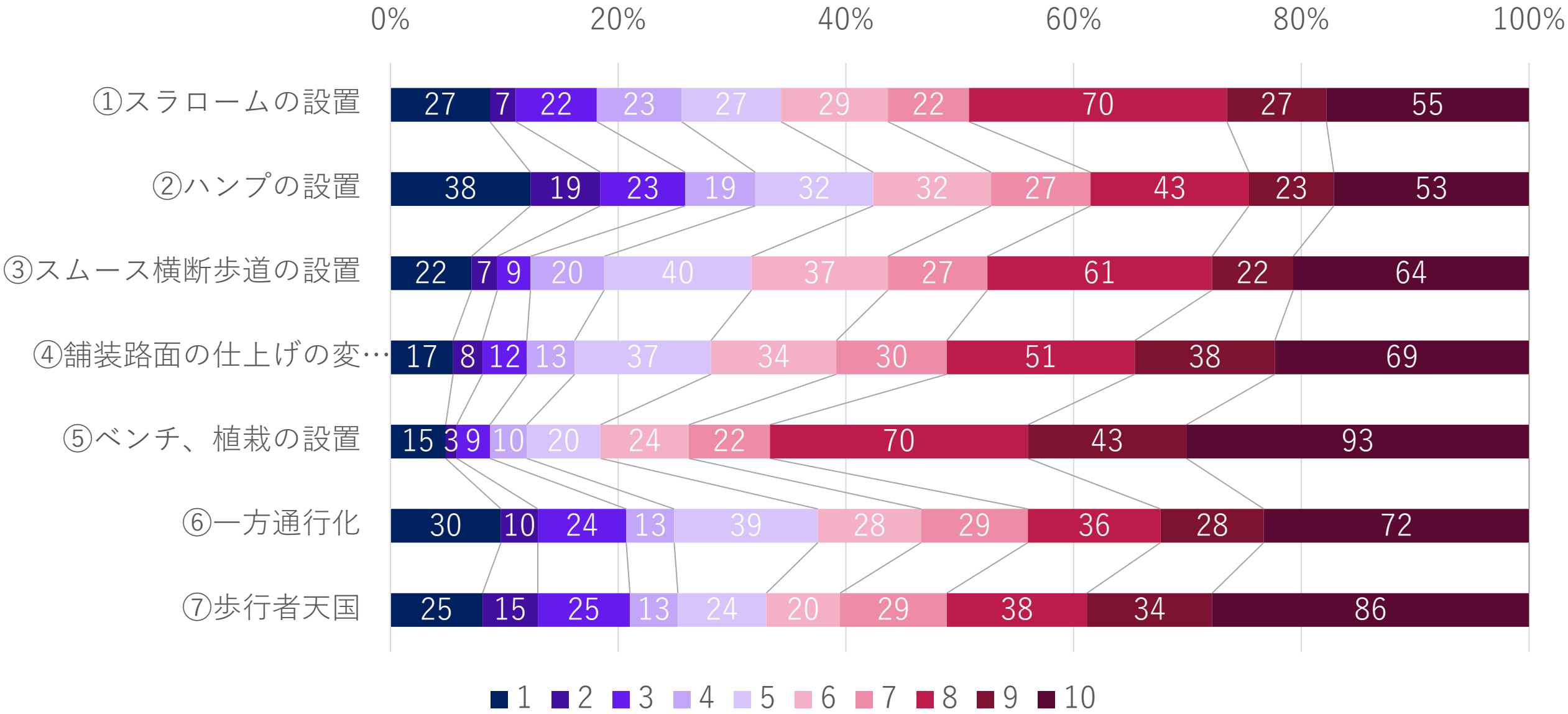
自動車の規制速度

○4割　時速20km以下
○5割　時速30km以下

将来のなってほしい道の雰囲気

○半数以上
「緑や自然にあふれるさわやかな道」
○2割弱
「ワクワクするような明るいデザインの道」
「都会的で落ち着きのある景観の道」

調査結果：交通安全対策について



交通安全対策についての結果の主成分分析

多くの項目を少ない変数に縮小し,評価の得点の傾向をわかりやすくするため

第1主成分 → 全体

第2主成分 →

プラス方向

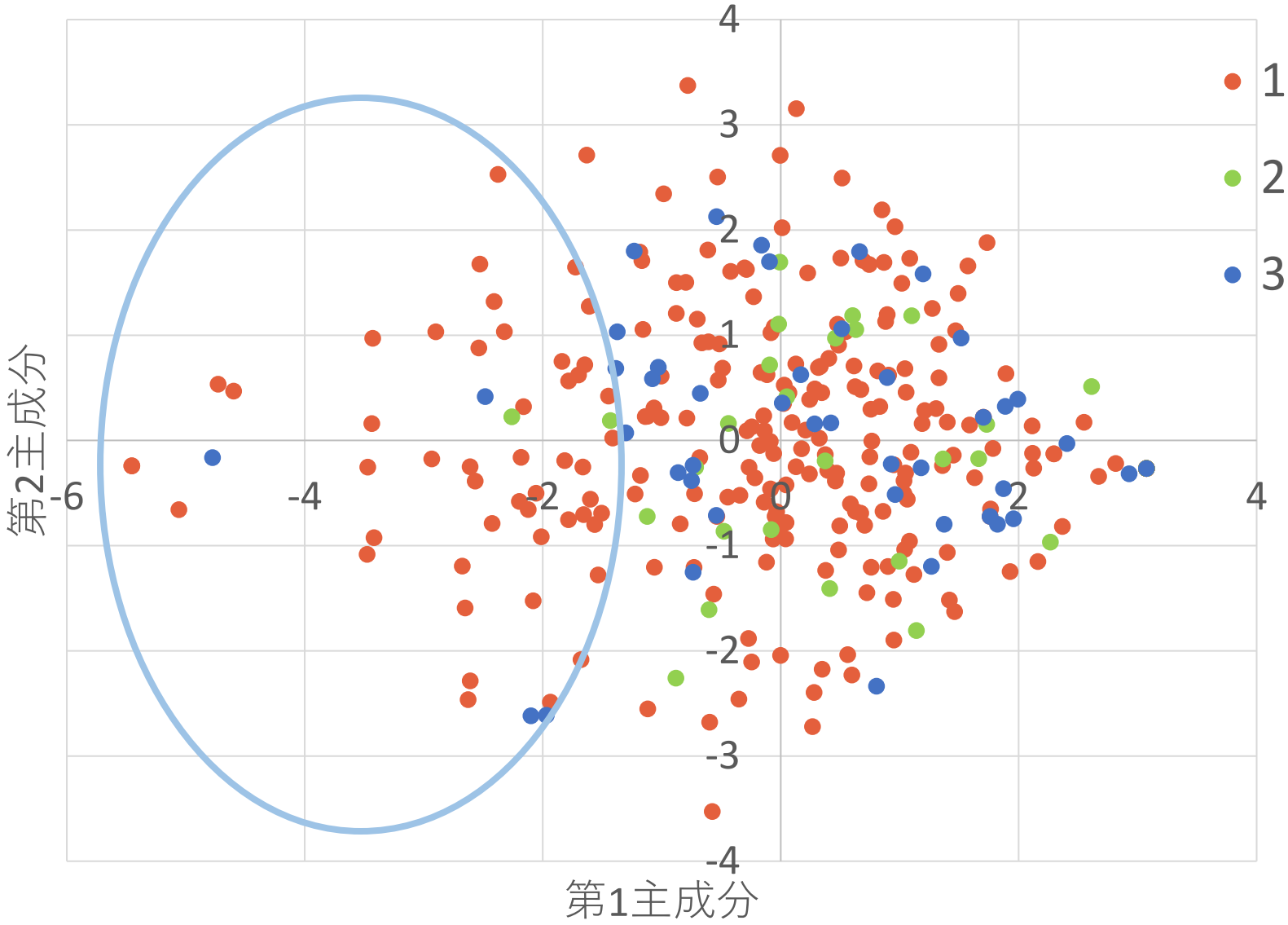
車道への物理的対策

マイナス方向

歩行者の歩きやすさへの対策

	第1主成分	第2主成分
スラローム	0.4200	0.3281
ハンプ	0.3665	0.3922
スムース横断歩道	0.4014	▲ 0.5280
舗装路面	0.3832	0.1332
ベンチ、植栽	0.3554	0.3042
一方通行	0.3650	▲ 0.0649
歩行者天国	0.3489	▲ 0.5876
寄与率	0.3595668	0.189437
累計寄与率	0.3595668	0.5490038

結果の分析：個人属性別



第1主成分が-2以下の方の多くが,最寄りが朝霞駅の方
　→整備に対する不安点があり,低い評価をしたのではないか

調査結果：自由記述

居心地のいい人中心の空間とするための改良点に関する記述回答
○歩行者や子供に安全な空間を望む意見
○イベント等,賑わいを求める意見

その他自由に意見等を求めた記述回答
○歩行者だけでなく皆の安全を望む意見
○賑わいのある街,さらにアートやお店など魅力ある空間を求める意見
○駅前通りの改善を求める意見

重要
○交通安全対策
○駅前通りの改善など周辺道路と連携した整備

まとめ

過年度の調査

- 対象道路沿いに居住する方の意見
- 改変と現状維持で意見が二分，住民のニーズと解決すべき課題

本調査

- 市外在住,道路利用者を含め多くの方の意見
- 具体的対策に対する評価，道路利用者のニーズと解決すべき課題

今後

- 沿道住民⇔道路利用者　意見の違いが合意形成の課題となり得る
- 整備に対する不安点への対策案の検討
- 対策のメリット,デメリットを理解していただいた上での更なる調査,検討

参考文献

1)国土交通省WALKABLE PORTAL ウォーカブル推薦都市について
https://www.mlit.go.jp/toshi/walkable/walkablecity/

2)住宅地におけるウォーカブルな道路整備提案の評価要因に関する研究
加藤菜々子　埼玉大学卒業論文2022年

3)埼玉県朝霞市公式ホームページ
官民連携エリアプラットフォーム『あさかエリアデザイン会議』（朝霞駅周辺地区）
https://www.city.asaka.lg.jp/soshiki/26/asaka-areadesign-kaigi.html